

小矢部市地域公共交通計画 概要版

1. 計画策定の背景・目的

本市の地域特性や地域公共交通の現状・課題等を踏まえ、目指す将来都市像の実現に向け地域公共交通が果たすべき役割を明らかにするとともに、市民の生活と移動を支援し、かつ、持続可能な地域公共交通を実現するためのあり方と施策を具現化するため、「小矢部市地域公共交通計画」を策定します。

- ・計画の区域 小矢部市全域
- ・計画の期間 R6年度(2024年度)～R10年度(2028年度)
- ・計画の対象 あいの風とやま鉄道、民営路線バス、市営バス(メルバス・チョイソコおやべ)、タクシー等(隣接自治体の公共交通との連携も考慮)

2. 本市の公共交通の現況・課題

本市の地域特性(地形・人口・交通特性等)や本市を運行する公共交通の運行概要・利用実態を整理するとともに、市民・公共交通利用者・高校生へのアンケート調査や交通事業者へのヒアリング調査を踏まえ、公共交通の主要課題を次の通り整理します。

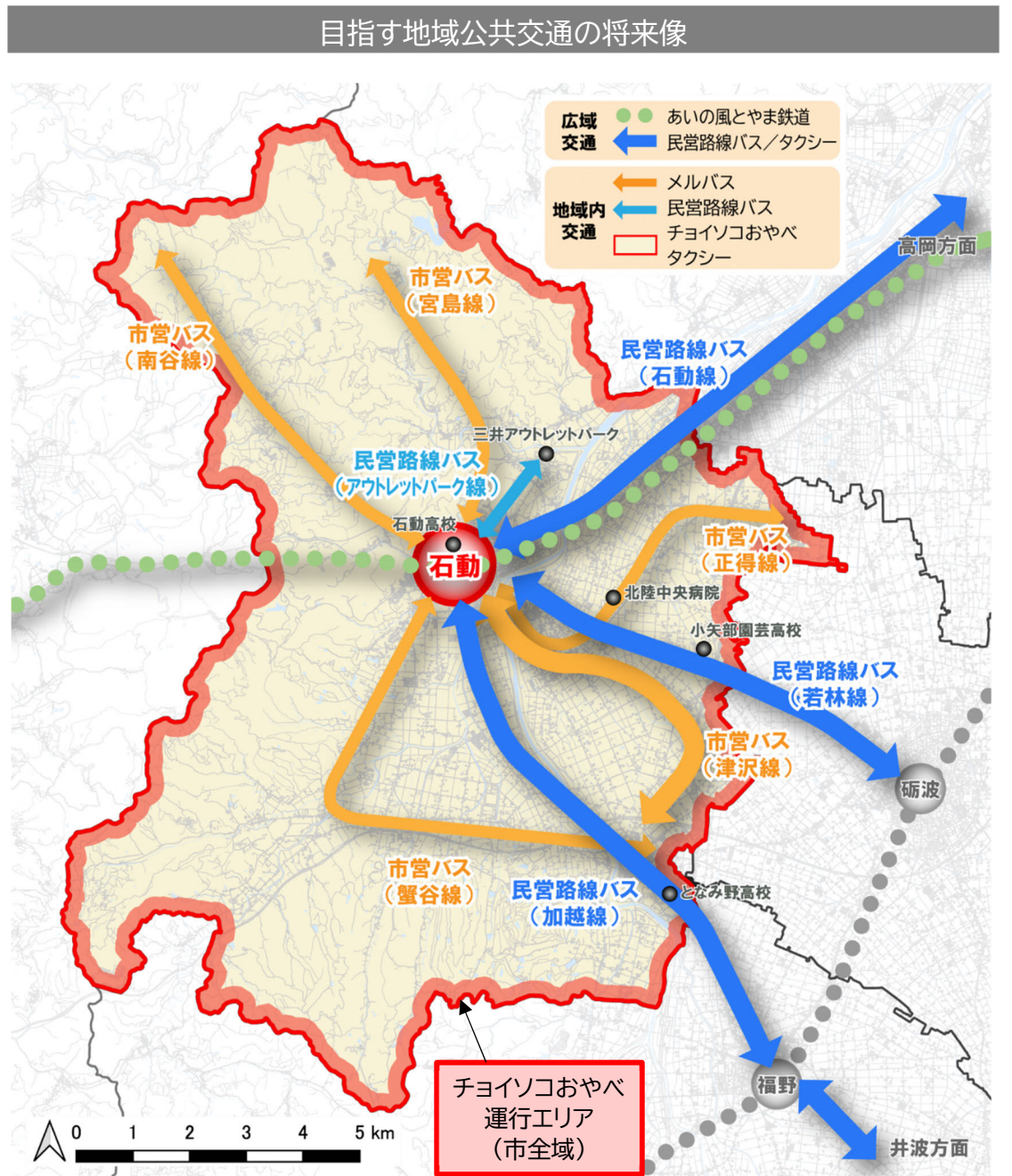
市民・地域の課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 高校生の通学手段の確保 ● 高齢者等の移動しやすい環境の整備 ● 市民利用の多い鉄道利用者の利便性の確保 ● 過度な自家用車利用からの転換を促進する移動の選択肢の確保 	行政の課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 定住・移住を促進する移動手段の確保 ● 集約型のまちづくりを推進するネットワークの充実 ● 観光・交流を促進する移動手段の確保 ● 行政負担の低減に資する効率的な運行の確立 	事業者の課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 担い手の確保と安定的な経営
--	--	---

公共交通を取巻く社会情勢の変化

- カーボンニュートラルの実現やSDGsに資する公共交通の実現

3. 基本理念・基本方針・施策・取組

基本理念	基本方針/目標	施策	取組(赤太字は重点的な取組)
ずっと住み続けられる、楽しく生活ができる小矢部市を目指し、移動をもっと便利に！快適に！	【基本方針1】 地域ニーズに対応した公共交通ネットワークの再構築	【施策1】 市営バスの再編および利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 市営バスの再編(AI オンデマンド交通の本格導入) ● 市民ニーズに応じた停留所の設置 ● 主要停留所におけるバス待ち環境の充実 ● 運行内容や利用方法などの情報発信 ● 隣接自治体との乗り入れ検討
	【目標指標(現況→目標)】 ● 市民一人当たりの公共交通利用回数 25回 → 31回 ● 市営バスの収支率 3.6% → 10%以上	【施策2】 鉄道の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ● パーク&ライド駐車場の利用促進 ● 混雑緩和等に向けた輸送力の強化 ● 快適性・環境性の向上のための車両導入
		【施策3】 民営路線バスの維持・充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 運行継続に向けた支援 ● 利用しやすいルート・ダイヤへの見直し ● 通勤・通学の利便性向上に向けた検討
		【施策4】 公共交通の持続性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者等との連携促進(メルバススポンサーの拡大) ● 公共交通のイメージアップに向けた情報発信 ● 公共交通乗務員の確保・育成に向けた支援
	【基本方針2】 交通DXの推進による誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	【施策5】 多様な情報発信・利用案内	<ul style="list-style-type: none"> ● 分かりやすい総合時刻表・利用ガイドの作成 ● リアルタイム運行情報の提供 ● 主要拠点における案内強化 ● 公共交通のオープンデータ化
	【目標指標(現況→目標)】 ● 公共交通の満足度 17% → 21%	【施策6】 利用しやすい運賃制度への見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 通学割引などによる利用促進 ● 民営路線バスと市営バスの格差是正 ● キャッシュレス決済の導入・充実
		【施策7】 交通結節機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● パーク&ライド駐車場の利用促進(再掲) ● 公共交通相互のダイヤ調整 ● 主要拠点における案内強化(再掲) ● 主要停留所におけるバス待ち環境の充実(再掲)
	【基本方針3】 多様な共創による公共交通の利用促進	【施策8】 まちづくりとの連携による利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光・交流を支える移動手段の確保・充実 ● 小矢部らしい移住・定住の促進 ● 商業施設(イベント)等と連携した利用促進 ● 運転に不安を感じる方への支援 ● 人にも環境にもやさしい車両の導入
	【目標指標(現況→目標)】 ● 居住誘導区域の人口密度 20.4人/ha → 20.4人/ha	【施策9】 地域・学校・企業との共創によるモビリティマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 分かりやすい総合時刻表・利用ガイドの作成(再掲) ● 転入者への情報提供 ● 市民や関係団体等における意識醸成 ● 児童・生徒への意識醸成 ● 市内企業への意識醸成



4. 事業概要

基本方針/施策	取組 (赤太字は重点的な取組)	実施主体				スケジュール				
		行政	交通事業者	企業等	市民	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
基本方針1 市営バスの再編および 利便性向上	● 市営バスの再編 (AIオンデマンド交通の本格導入)	●	●			本格運行、運行評価・定期的な見直し				
	● 市民ニーズに応じた停留所の設置	●	●	●		メルバススポンサー拡充、チョイソコおやべ専用停留所の増設				
	● 主要停留所におけるバス待ち環境の充実	●		●		バス待ち環境の充実、施設内での待合スペース確保・案内板の設置の促進				
	● 運行内容や利用方法などの情報発信	●	●			出前講座の実施、チョイソコ通信等の広報の充実等				
基本方針2 鉄道の利用 性向上	● 隣接自治体との乗り入れ検討	●	●			民営路線バスの利便性向上、市域を跨ぐ市営バスの乗り入れの検討				
	● パーク&ライド駐車場の利用促進	●	●			割引制度の継続、案内チラシ配布等による周知				
	● 混雑緩和等に向けた輸送力の強化	●	●			利便性向上に向けた連携・協調・支援				
基本方針3 民営路線バスの維持・充 実	● 快適性・環境性の向上のための車両導入	●	●			鉄道設備の計画的な維持管理・更新、環境性能に考慮した車両の導入				
	● 運行継続に向けた支援	●				運行の継続的な支援 (地域公共交通確保維持改善事業等の継続)				
	● 利用しやすいルート・ダイヤへの見直し	●	●			ニーズに応じた運行内容の見直し				
基本方針4 公共交通の持 続性の確保	● 通勤・通学の利便性向上に向けた検討	●	●			民営路線バスの増便等の利便性向上の検討				
	● 事業者等との連携促進 (メルバススポンサーの拡大)	●		●		メルバススポンサーの拡大、サービスの拡充				
	● 公共交通のイメージアップに向けた情報発信	●	●	●		世代に応じた公共交通に関する情報発信の強化				
基本方針5 多様な情報 発信・利用案 内	● 公共交通乗務員の確保・育成に向けた支援	●	●			働きやすい職場環境や担い手確保・育成に向けた支援の継続				
	● 分かりやすい総合時刻表・利用ガイドの作成	●				総合時刻表等の作成・検討、総合時刻表などの配布、多言語による案内充実				
	● リアルタイム運行情報の提供	●	●			とやまロケーションシステムの充実・利活用の促進				
基本方針6 利用しやすい 運賃制度への 見直し	● 主要拠点における案内強化	●	●			個人用時刻表の検討、個人用時刻表の作成・配布、分かりやすい案内方法の検討・設置				
	● 公共交通のオープンデータ化	●	●			バス情報データのオープンデータ化の推進、公共交通のサービス改善等の推進				
	● 通学割引などによる利用促進	●	●			通学割引の試験導入、支援制度の導入、必要に応じて見直し・改善				
基本方針7 交通結節機 能の強化	● 運賃格差の是正の検討	●	●			運賃格差の是正の検討				
	● キャッシュレス決済の導入・充実	●	●			民営路線バスのキャッシュレス決済導入の検討、適宜実施				
	● パーク&ライド駐車場の利用促進 (再掲)	●	●			割引制度の継続、案内チラシ配布等による周知				
基本方針8 まちづくりと の連携によ る利用促進	● 公共交通相互のダイヤ調整	●	●			石動駅の乗換え接続を考慮したダイヤの継続的な見直し				
	● 主要拠点における案内強化 (再掲)	●	●			個人用時刻表の検討、個人用時刻表の作成・配布、分かりやすい案内方法の検討・設置				
	● 主要停留所におけるバス待ち環境の充実 (再掲)	●		●		バス待ち環境の充実、施設内での待合スペース確保・案内板の設置の促進				
基本方針9 地域・学校・ 企業との共 創によるモ ビリティマ ネジメントの 推進	● 観光・交流を支える移動手段の確保・充実	●	●	●		タクシーを活用した新しいサービスの導入等検討、観光施設周遊プランの企画・販売先、MaaS参画等の検討				
	● 小矢部らしい移住・定住の促進	●				様々なニーズに対応した移住・定住の促進				
	● 商業施設 (イベント) 等と連携した利用促進	●	●	●		スポンサー企業との企画検討、公共交通利用者への特典、公共交通を使ったおでかけの企画・提案				
基本方針10 まちづくりと の連携によ る利用促進	● 運転に不安を感じる方への支援	●				運転免許の自主返納のきっかけづくり、運転免許自主返納支援制度の継続				
	● 人にも環境にもやさしい車両の導入	●	●			車両更新に合わせた導入検討、EV車両の充電設備の整備				
	● 分かりやすい総合時刻表・利用ガイドの作成 (再掲)	●				総合時刻表等の作成・検討、総合時刻表などの配布、多言語による案内充実				
	● 転入者への情報提供	●				転入者への総合時刻表・利用ガイドを用いた説明・配布				
基本方針11 地域・学校・ 企業との共 創によるモ ビリティマ ネジメントの 推進	● 市民や関係団体等における意識醸成	●		●		出前講座の実施、多様な媒体を活用した情報発信				
	● 児童・生徒への意識醸成	●	●			乗り方教室等の実施、公共交通を利用した通学の促進等				
	● 市内企業への意識醸成	●		●		ノーマーカーウィークの実施、市内企業への情報発信、エコ通勤等の仕組み検討・推奨				

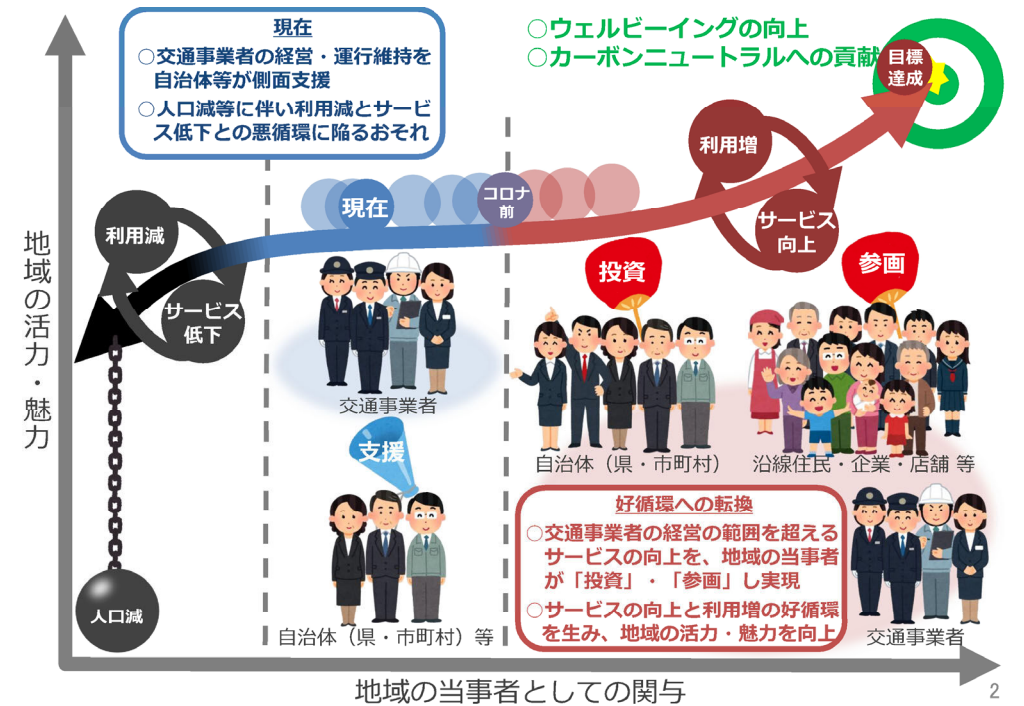
5. 計画の推進体制・進捗管理

本計画の実施に当たっては、行政や交通事業者、市民・企業等が連携・協力するとともに、まちづくりや観光、医療・福祉、環境政策などと連携を図り、多様な移動や各種まちづくりを支える公共サービスとして、地域公共交通を確保・向上するよう、ハード・ソフト両面から施策を実施します。

また、施策の具体化に向け、国や県による支援等を受けながら、市・交通事業者・市民・企業等が積極的に投資・参画することで、地域の移動手段を、地域で「考え・作り・育て・活かす」取組を一体となって推進します。

さらに、計画の進行管理については、小矢部市地域公共交通活性化協議会を毎年開催することで、PDCAサイクルを実行します。

【地域の活力・魅力の向上に向けた役割分担・責任分担のイメージ】



出典：富山県地域交通戦略

【進捗管理 (PDCA サイクル) の進め方】

	計画策定 R5	1年目 R6	2年目 R7	3年目 R8	4年目 R9	5年目 R10
計画 Plan	計画策定					
実行 Do		事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施
評価 Check	事業進捗状況の評価	目標達成状況の評価				
見直し Act		必要に応じて計画の見直し				次期計画の検討
協議会		●	●	●	●	●